

# 愛&ノハート

## ■ 着任のご挨拶

## ■ 2025年度キックオフ(全体会議)

## ■ 2025年度入職式(あいハート須磨)

## ■ 愛の家

- 新年度を迎えて
- 社会参加への取り組み
- 工賃向上を目指して!
- さくら祭り開催

## ■ あいハート須磨 着任のご挨拶

- 求められる役割を果たす
- 新たな環境での挑戦
- 新人職員紹介
- あいハート離宮前
- さらなる上を目指して

2025 May

276号

かがやき・きぼう  
利用者さん  
の作品







法人本部事務局長  
高岡 順二

この度、法人本部事務局長を拝命致しました高岡です。

あいハート須磨の施設長として3年間務めて参りましたが、職員や入居者・利用者・ご家族の皆様、地域・行政の皆様には大変お世話になりましたことをこの場をお借りして御礼申し上げます。

あいハート須磨在職時はさまざまな難題や悩みの原因となるような問題が時折発生し、落ち着いて業務に専念する時間が取りにくい状況でありました。特に頭を悩ませたのは介護職員の確保と定着が思うように進まなかったことです。

少子化に加えて福祉業界を目指す人も少ないため、新卒はもちろんですが中途採用であっても他施設との人材獲得競争が激化していることもあり、採用がさらに難しくなっていることを実感しました。せっかく採用しても職場環境に合わずに早期に退職していく職員も多数発生しまし

た。職員が安定せず十分でないため、サービスの質の低下やコミュニケーション不足等、あらゆる物事において悪循環し、負の連鎖からなかなか抜け出すことができず、自分の力不足を感じました。

そのような課題がある中で今回の異動は忸怩たる思いに駆られますが、4月からは新たに介護職員が複数名入職し、特養・デイサービス部門では新たなマネジメント体制に変更となり、専任の人材育成担当も配置しています。又、職員に対するエンゲージメントサーベイを実施し、今年度はその結果に基づいて課題の現状把握を行い、適切な改善策を講じていくことを事業計画に盛り込んでいます。新しい事を始める際には困難や苦勞が立ちはだかり、新たな負担が生じることもあるかもしれませんが、この機をターニングポイントとして悪循環を断ち切り、新施設長のもと職員一丸となって創意工夫しながら前進していったらいいと思っています。

私自身もあいハート須磨施設長として3年間経験したことや、職員の皆さんの想いを心に留めながら、新たな立場で何ができるかを考え、職員の皆さんにとって働きやすい職場、またいつまでも働いていたい職場づくりに向けてサポートして参りたいと考えております。



あいハート須磨施設長  
根木 浩司

4月からあいハート須磨の施設長に就任いたしました根木と申します。

昨年4月から1年間、法人本部の事務局長としての勤務を経て1年ぶりにあいハート須磨へ戻ってまいりました。法人本部の事務局長は1年という大変短い任期となりましたが、関係者の皆様には大変お世話になりました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

私は神戸市須磨区出身ですが、学生時代に通っていた学校が大阪だったことから、卒業後は大阪市内の施設（別法人）に勤めておりました。当法人へ転職した際の一番の動機は「自分が生まれ育った須磨の福祉に貢献したい」というものでしたので、改めて須磨に戻って来ることができたことに喜びを感じると同時に、「施設長」という立場が持つ影響力や責任の大きさに身が引き締まる思いです。

さて、今年度のあいハート須磨のマネジメント体制は、施設長の交替以外にも大きく変わった点があります。①特養（短期入所）・デイサービス・厨

房を統括する副施設長の配置、②特養・短期入所の部門長とデイサービス部門長の交代、③部門長代理を看護師長（医務の統括）に役割変更、④人材育成担当（主任、他1名）の配置が主な内容です。この狙いとして、「業務改善の推進」、「部門の課題解消」、「人材育成体制の充実」、「あいハート須磨の介護方針に沿ったサービス提供の実践力強化」などが挙げられますが、これらは単にマネジメント体制を見直すだけで成果が現れるものではありません。私を含めて各自が役割を理解して具体的な取り組みを実践し、一定の期間をかけて成果を検証していく必要があります。この検証にはエンゲージメントサーベイ（前号「エンゲージメント向上を目指して」を参照）のスコアや離職率等を指標にしたいと考えていますが、部門毎（小単位）で優先課題を明らかにして取り組んでいくことが大切だと考えています。

今年度あいハート須磨は設立30周年の節目を迎えました。私と同じく4月から新たに就任した仙波副施設長をはじめ、全てのあいハート須磨のスタッフとともに力を合わせ、これからも地域福祉に貢献しつづけることができる施設を目指していく所存です。

今後ともご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。



## 2025年度キックオフ（全体会議）

4月1日（火）に、愛の家、あいハート須磨・離宮前において、2025年度キックオフ（全体会議）が開催されました。

永年勤続職員への感謝状と記念品の贈呈をはじめ、2024年度における事業計画を達成した部門や法人ビジョンの実現に貢献した部門に対しての感謝状が授与されました。

その後、2025年度の事業計画について、施設長、各部門長が説明と決意表明を行いました。

今年度は中期経営計画（2023～2025年度）の最終年度ですが、計画の達成に向けて更に取り組みを推進していくと同時に、次期中期計画を策定する年度となります。

4月の人事異動により、愛の家では工房みさきに新たに部門長代理を配置、あいハート須磨では施設長交代や副施設長の配置などがあり組織体制が変更となりましたが、気持ちも新たに職員一丸となつて日々の業務に励んでまいります。

今後も引き続きご支援、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。



▲あいハート須磨・離宮前



▲愛の家

## 2025年度入職式（あいハート須磨）

人材確保が困難な状況ではありますが、4月1日付であいハート須磨特養・シヨート部門に介護職員3名（新卒採用1名・中途採用2名）、脳梗塞リハビリステーション神戸須磨に理学療法士1名（中途採用）がそれぞれ着任し、新たに法人の仲間となりました。

採用・異動辞令の交付と入職式が執り行われ、その後は法人概要や就業規則・規程類の説明の他、介護施設に必要な法定研修など入職研修を実施しました。

今後の新人職員の活躍を期待しています。



▲辞令交付



▲新人職員



▲施設長訓示



新年度を迎えて

● きぼう主任 辰見 幸子

新しい学校生活が始まり、慌ただしく

年度の始まりは、新たなスタートを感じさせてくれる季節です。咲き誇る花々や柔らかな風が心にそっと寄り添い前向きな気持ちを運んでくれます。環境が変わり不安や緊張もあるけれど、それ以上に希望や可能性が広がっていくなかで、一つひとつの出来事を大切にし、子どもたちの成長を見守りながら支援をおこなっていきたいと思います。新しい一年が実り多きものになりますように。

## 社会参加への取り組み

●かがやきスタッフ 中村 美穂

愛の家かがやき1丁目では、日中活動時間に歩行訓練や体操、工作やぬり絵、音



愛の家がある岬町では、社会福祉協議会が主催している喫茶や、集いの場が各所で開かれています。そこで、愛の家みらい、田中相談員の協力もいただき、毎月開催されている『みさきのわ』という集いに

参加することになりました。そこでは、岬町社協の職員やボランティアの方々が、季節に合わせた作品を作る場を用意してくださっています。

今後、地域の方々と触れ合うことができる催しへの参加や、外出する機会をつくる取り組みを続けていきたいと思っています。

いつも温かく迎えてくださる社会福祉協議会の方々、ボランティアの方々、ご協力ありがとうございます。今後もよろしくお願いいたします。

集いには、町内の老人施設の利用者さんも参加されています。まず、自己紹介をして談話をしながら作り方を教わり、一緒に物作りに取り組んでいます。初めての日、利用者さんは慣れない場所ので緊張している様子がみられました。心配なこともありましたが、今では自分から会話をしたり、思いを伝える



## 「工賃向上を目指して！」

● 工房みさきリーダー 服部 太志

大阪府では工賃向上計画支援事業の取り組みが推進されているなか、工房みさきでも工賃向上を目標にしています。大阪府工賃向上計画支援事業とは、障害者施設の月額工賃を向上させ、「より豊かな就労」を支援するプロジェクトとなります。

昨年度、工房みさきでは新たに工賃査定の見直しと更新を行いました。工賃向上に向けた取り組みにおいては、新規清掃作業の契約を目指しましたが、残念ながら契約には結びつきませんでした。一方で、既存の取引先に対して作業単価の値上げ交渉、別作業の請負について交渉を行った結果、昨年度



の売上総額は前年度を上回り、授産の収支改善が進みました。

これまで経験することのなかった新しい作業に取り組むなかで、最初は苦慮され、「失敗するのが、怖い」、「もうやりたくない」といった意見も飛び交うなか、職員、利用者と一緒になって試行錯誤を重ね、今では定着することができるようになりました。また、多くの作業種目の経験を積み重ねることにより、それぞれの得意とする作業を知ることができ、役割を担っていただくことも増えてきました。作業中の雰囲気も作業に対するモチベーションが高まってきたのか、一生懸命取り組み姿が増えたように思います。何よりも役割ややりがいをもって取り組み過程で「おしごと」が楽しいと思っていただけることが日々の充足度を高めているのではないのでしょうか。

一見、職員の仕事は地味で見えづらい裏方役が多いかもしれませんが、それは、利用者のみんなが主役であるがためだと思っています。利用者の皆様が毎日、安心して楽しく通所することができるような事業所を目指してこれからもサポートできればと思います。今年度は、法人本部と一緒に自社製品の検討も行い、更なる工賃向上の体制を構築することができるよう努めたいと思います。引き続き工房みさきをよろしくお願いいたします。

## 「さくら祭り開催」

● みらいリーダー 片岡 正年

今年もさくら祭りの季節がやってまいりました。4月5日当日、愛の家の桜はほぼ満開。今日という日に合わせてくれた感じがします。今回で2回目となりました「マグロの解体ショー」、今年のマグロは那智勝浦で水揚げされた天然メバチマグロです。メバチマグロの呼び名は重さで分かれており、15kg以下がダルマ、25kg以下が小鉢、40kg以下が中鉢、40kgを超える大物が大鉢と呼ばれています。日本近海で取れるのは小型なものが多いとのこと。この度、日清医療食品株式会社手配してくれたマグロは38kgなので限りなく大鉢に近い中鉢ということにな



ります。

解体ショーの前に記念撮影を済ましていよいよスタートです。日清医療食品株式会社のスタッフによる解体ショーはわずか20分で終了。あとは刺身にして丼にするので、利用者は一旦各フロアに戻っていただき、来客の皆様にはそのまま鑑賞していただきました。

ようやくマグロ丼が出来上がり、お待ちかねの食事タイムです。お代わりをする利用者も多く、また兜焼きも提供され皆さんご満悦の表情でした。





## あいハート須磨

### 求められる役割を果たす

●副施設長

特養・シヨート部門長兼務

仙波 剛



この度、4月1日付けで、あいハート須磨副施設長を拝命致しました仙波剛と申します。私は、あいハート須磨に入職し30年を迎えました。

入職時は特養部門。その後は、ディサービス部門に配属となり自身の職務にまっとうして参りました。阪神淡路大震災の爪跡が残る中、ハートふる須磨として開設。その後、あいハート須磨と名称が変わり、開設30年の歴史と共に歩んで参りました。

今回拝命した役職は、開設以来初めての役割を担っており、特養・シヨート部門長の兼任やディサービス部門と厨房部門も

統括する事になりました。今までと違い簡単に物事を進めていくことは容易ではないと思います。求められる役割をどう遂行していくか、実現させるためには何が必要かを考えながら職務に尽力いたす所存です。その為には現場で働く職員の想いや声に耳を傾け、課題・問題点を抽出整理し、ひとつひとつ解決して行き、今よりもより良い職場環境づくりを目指して参ります。

最後に、私自身まだまだ力不足ではございますが、あいハート須磨の歴史に傷をつけないよう、職務に尽力いたす所存でございます。

何卒、今後とも一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



## 新たな環境での挑戦

●あいハート須磨ディサービスセンター

部門長 原田 浩樹



ご利用者の皆様、並びにご家族様、関係者の皆様、はじめまして。

この度、あいハート須磨ディサービスセンターの部門長として着任いたしました、原田浩樹と申します。これまでは同法人の特別養護老人ホームにて介護業務・管理業務に携わってまいりました。多くのご利用者様やご家族様、そして職員と関わらせていただいた中で、一人ひとりの方と向き合い「その人らしい生活を支える」という思いを大切にしてきました。

今回、ディサービス部門へ異動となり、新たな環境での挑戦となりますが、住み慣れた地域で安心して過ごしていただける

よう、ご利用者様お一人おひとりの想いや生活に寄り添った支援を心がけてまいります。

私自身、まだまだ勉強中の身ではありますが、これまで築かれてきた信頼やあたたかな雰囲気や大切にしなごう、職員の皆様と一緒に力を合わせ、明るく活気のあるディサービスセンターを目指してまいります。

ご利用者様、ご家族様、そして職員にとって、安心できる場であり続けられるよう努めてまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。





## 新人職員紹介



みなさん初めまして。特養2階に配属となりました、新人職員の井上勇慈（いのうえ ゆうじ）と申します。

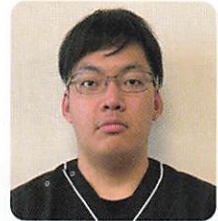
私が介護の仕事に興味を持ったきっかけは、私の曾祖母があいハート須磨にお世話になっていたからです。それで、私もここで働きたいと思い入職を希望しました。

私は人と話すのが苦手ですが、自分から積極的にコミュニケーションを取っていきたいと思います。

最後に、人一倍ご迷惑をおかけすると思いますが、ご指導の方をよろしく願います。全力で頑張ります!!



特養・ショート部門  
介護スタッフ  
井上 勇慈



特養・ショート部門  
介護スタッフ  
今井 颯汰



特養・ショート部門  
介護スタッフ  
近藤 信繁



脳梗塞リハビリテーション  
神戸須磨  
主任 小舟 裕也



あいハート離宮前  
管理栄養士  
仁木 未知

みなさん初めまして。4月1日よりあいハート須磨の特養部門2階に配属されました、今井颯汰（いまい そうた）と申します。

私が介護の仕事に興味を持ったきっかけは両親が介護職に携わっており、幼い頃からその背中を見て育ってきたからです。そんな両親の薦めで今年実務者研修を修了し、あいハート須磨に勤務することになりました。

これまで介護経験がなく、いきなり面接に来た私を快く雇ってくれたあいハート須磨には感謝の念が堪えません。未熟者ではありますが精一杯努めてまいりますので、今後とも何卒よろしくお願いします。

初めまして。4月よりあいハート須磨に入職した近藤信繁（こんどうのぶしげ）と申します。

転職活動をしていく中であいハート須磨を選んだ理由としては、学生の時に実際に実習で来たことがあり、1ヶ月過ごすと職員やフロアの雰囲気良かったという印象があったからです。そのため当時からここで働くのも良いかもと考えていました。少し遠回りしましたが無事入職することが出来てうれしく思います。

約1年半、別の施設で働いていましたが、自分の介護に対する知識や技術はまだまだであり不安なことも多々あります。そのため上司や先輩方の指導やアドバイスをとり入れ介護職として日々成長していきたいと思っています。これからよろしくお願いします。

4月より入職しました理学療法士の小舟裕也（こふね ゆうや）と申します。これまで回復期病院で多岐にわたる疾患のリハビリを経験しました。

私がリハビリをする上で大切にしていること、それは「愛情を持って接すること、それは専門性の高さを発揮して身体機能を改善するのは当然のこと。この土台に、心の通じ合いがあるからこそ、リハビリの成果が生まれます。この心を大切にすること、私の信念であり、これまでの経験値を存分に生かして、脳梗塞リハビリ事業の発展に貢献します。

まだ慣れないこともあり、常に二歩先を見据えて努力しますので、ご指導のほどよろしくお願いいたします。

1月よりあいハート離宮前で働かせていただいている管理栄養士の仁木未知（にき みち）です。

失敗続きの連続で四苦八苦の毎日ですが、「美味しかったよ」というお声を頂くと何よりもうれしく元気がもたれます。ホームでの生活の楽しみの一つに食事があり、ます。どんな献立が喜んでいただけるのか、美味しいって難しいですね。単に味が良いとか、特別なものを毎日食べることが必ずしもそうではないからです。ご入居者様にとつては三六五日を過ごしているという何気ない日常も大切です。

季節のものや行事食のようなお楽しみのお食事と飽きのこない毎日の食事とのバランスをとりながら、皆様それぞれ「美味しい」を感じていただけるように頑張りたいと思います。



## あいハート離宮前

### さらなる上を目指して

●あいハート離宮前

介護主任 丸毛 教嗣

「2025」。あいハート離宮前にとってとても大切な数字になります。皆さん、なんだと思いませんか？ちなみに23年度は「95」でした。この数字は2024年度あいハート離宮前にご協力くださいましたボランティアの延べ人数になります。コロナ禍では出来なかった多くの行事が地域の方を含め、多くのボランティアの皆さんのおかげで少しずつ再開していくことが出来ました。ご入居者様より「あれがしたい」「これがしたい」との声をいただいていたが要望に添った行事やサークルが出来ようになり皆さんにとっても喜んでいただけています。特に要望の多かった習字サークルにおいては新しく先生も見つかり毎月真剣な表情で取り組まれています。

しかしながら、コロナ禍前に比べるとまだまだ行事もサークルも出ていないのが現状です。また、課題もたくさんあり、特に職員が大きな行事やサークル活動に慣れておらず必要以上に準備などに時間が掛かることやコロナ禍で部屋にこもることが多くなり、なかなか行事に参加されな



いご入居者様も一定数おられます。また、年齢層も70歳台の方から100歳以上の方までと幅広く、皆さんに合った行事やアクティビティがなかなか提供できていません。ホームで生活していくなかで日々の楽しみの充実が欠かせません。

今後も今まで以上にご入居者様が喜ばれる行事等を増やしていきたいと考えています。そして、今の状態に満足せず、離宮前の事業計画にもあります「満足を超えるサービスの提供」を目指してご入居者様一人一人に向き合い、これからも地域の皆様をはじめ多くのボランティアと協力しながら開催して行くことで、もっと多くのボランティアに来ていただきたいと考えています。

誰もが笑顔あふれる毎日を目指して職員一同知恵を絞りながらさらなる上を目指していき、多くの方に離宮前に来て本当に良かった、毎日が楽しいと感じていただけるホームを目指して2025年度は頑張っていきたいと思っています。

### ご支援をくださった方々

#### 《3月》

##### 後援会費

NTT西日本関西支店社会福祉推進委員会 様  
NTT労働組合データグループ本部関西分会 様  
NTT労働組合ドコモグループ本部ドコモ関西総分会 様  
NTT労働組合西日本本社総支部 様

##### 寄付金

きらら保険サービス株式会社 様

##### マッチングギフト

NTT西日本 兵庫支店 様  
株式会社 NTTドコモ関西支社 様  
株式会社 ドコモCS関西 様

(計8件)

#### 「皆様の声」受付窓口

全電通近畿社会福祉事業団では、社会福祉法第82条の規定に基づき、利用者家族の皆様等から「苦情」やご意見に適切にお応えするための体制をとっています。面接・電話・書面等どのようなかたちでも結構ですので、遠慮なく、お気軽にお申し出ください。

- 愛の家 ..... 072-494-0123
- あいハート須磨 ..... 078-737-2525
- あいハート離宮前 ..... 078-731-2130
- 法人本部 ..... 06-6458-5723

#### 【発行】

社会福祉法人 全電通近畿社会福祉事業団  
〒553-0003 大阪市福島区福島 3-1-73  
TEL 06-6458-5723  
Website <https://www.zendentu-kinki.jp>  
Facebook <http://www.facebook.com/zendentukinki>  
E-mail [jigyodan@silver.ocn.ne.jp](mailto:jigyodan@silver.ocn.ne.jp)

#### 【発行人】

理事長 橋本 寿樹

